

令和2年度生徒指導集中対策，生徒指導実践指定校及び不登校等未然防止推進校

「指定校における取組事例」

学校名	尾道市立向東中学校	校長	吉用 和弘	担当者名	瀧奥 恵二
-----	-----------	----	-------	------	-------

取組事例名 『レジリエンス（心の回復力）の育成』

生徒指導に係る連携体制の確立	○	カウンセリング・マインドをもった教職員と児童生徒との対話	主体的な活動を通じた絆づくり
----------------	---	------------------------------	----------------

取組における育てたい資質・能力

「主体性・積極性」「協働する力」「論理的思考力」

取組のねらい

- ・困難な状況においても、他者を思いやり夢や目標に向かって挑戦することができる生徒を育成すること。
- ・レジリエンス（心の回復力）の中でも、特に「挑戦する意欲」を向上させること。

取組の具体的内容

取組の創意工夫

- ①レジリエンスに関わる研修
(生徒の実態把握及び教職員の意識統一)
- ②行事の実施
・校内球技大会・文化祭(全校合唱・クラス対抗合唱コンクール)・部活動対抗駅伝などを通じて3年生や各学年のリーダーをロールモデルとして育てた。
- ③ありがとうカードを作成し、学年を問わず仲間を認めるようなメッセージを発信した。
- ④レジリエンス通信を発行し生徒・保護者への周知を行った。



カウンセリング・マインドを活用した生徒との面談

- ・面接ウィークを設定し、生徒の頑張りを認め、悩みを共有する中で肯定的な対話を行う。
- ・アンケートや生活ノート(本校ではタイムくん)から得た情報を基に、迅速な面談を実施する。
- ・SCやSSWとも連携した生徒指導。(SSWによるSSTの実施, SCによる全員面談やストレスマネジメントの授業)

取組の成果と課題

レジリエンスアンケートの変容

挑戦する意欲の項目(私は難しい状況から立ち直ることができる)

学年	4月	7月	1月
1年	67.5%	64.0%	68.5%
2年	70.0%	80.7%	67.2%
3年	67.5%	73.1%	84.8%
全体	67.5%	73.0%	74.2%



○コロナ禍だからできないのではなく、どのような形であれば行うことができるのかを生徒と教師との対話の中で導きだし、実行することで挑戦する意欲を高め、達成感や充実感を共有することができた。

○日常からレジリエンスのアンケートだけではなく、各種のアンケートや生活ノートから担任を中心とした面談を状況に応じて行い、クイックミーティングなどで情報を共有することで多くの教職員が生徒との関わりを持つことができた。

▼教職員のカウンセリング技能を向上させていくことで、生徒との対話をより良いものにしていく。